

創立50周年記念のしおり

創立50周年記念行事のお知らせ

(1) 記念式典

日 時：1964年11月6日(金) 13.30~15.30
 場 所：東京文化会館小ホール(東京都台東区上野公園1の2 国鉄上野駅公園口出口前)
 次 第：会長式辞, 記念事業経過報告, 来賓祝詞, 功労者表彰
 雅 楽：宮中雅楽①萬歳楽(まんざいらく) ②納曽利(なそり)(3ページ解説参照)

(2) 祝賀会

日 時：1964年11月6日(金) 16.00~17.30
 場 所：上野精養軒大ホール(東京都台東区上野公園忍ヶ岡 不忍池北東)
 様 式：立食ビヤーパーティ
 参加費：500円(前号に1000円とあるのはミスプリントです)
 申 込：10月24日(土)までに参加費を添えて土木学会事業課宛お申込み下さい(取消しに10月31日
 までにお申出のあったときに限り後日参加費をお返しいたします。)

(3) 記念講演会

日 時：1964年11月7日(土) 9.30~16.30
 場 所：東京文化会館小ホール(東京都台東区上野公園1の2 国鉄上野駅公園口出口前)
 内 容：

自	至	分	区 分	講演者	所 属	演 題
9.30	9.35	5	開会の辞			
9.35	10.20	45	会長講演	福田 武雄	土木学会会長	構造工学進展のあゆみ
10.20	11.10	50	特別講演1	尾之内 由紀夫	建設省道路局長	わが国の高速道路について
11.10	12.00	50	" 2	藤井松太郎	国鉄技師長	東海道新幹線について
12.00	12.40	40	休けい昼食			
12.40	13.05	25	交通部門	天野光三	京大助教授	輸送調整に関する課題
13.05	13.30	25	土質工学部門	森 博	基礎地盤コンサルタン ト社長	地盤の現位置試験法の進歩
13.30	13.55	25	材料部門	徳光善治	九 大	不連続粒度の骨材を用いたコンクリートについて
13.55	14.20	25	施工部門	佐藤幸雄	北海道開発局札幌開発 建設部道路第1課長	岩見沢跨線橋について(泥炭地帯における 基礎工法)
14.20	14.45	25	土木計画部門	寺田久弥	大阪市総合計画局計画 部第1課長	大阪市の都市計画におけるO.R.
14.45	14.50	5	休 け い			
14.50	15.15	25	エネルギー部門	長山泰介	日本原子力研究所	エネルギーと原子力
15.15	15.40	25	都市計画部門	谷 重幸	名古屋市計画局計画部 長	大都市圏計画の諸問題について
15.40	16.05	25	水工部門	林 泰造	中央大教授	わが国水理学の現況
16.05	16.30	25	構造部門	奥村敏恵	東大教授	最近の鋼材と継手
16.30	16.30		閉会の辞			

申 込：不要, 聴講自由

(4) 国土開発映画コンクール入選発表会

日 時：1964年10月30日(金) 13.30~16.30
 場 所：発明会館ホール(東京都港区芝西久保明舟町17 都電西久保巴町停留所100メートル)
 申 込：不要，観覧自由

(5) 東京地区巡回映画会(横浜，川崎両市をふくむ)

月 日	時 間	場 所
1964年11月18日(水)	10.00 ~ 12.00	品川文化会館
20日(金)	"	杉並公会堂
21日(土)	"	大田区民会館
24日(火)	"	世田谷区民会館
25日(水)	"	厚生年金会館小ホール
28日(土)	"	小金井公会堂
12月2日(水)	13.00 ~ 15.00	川崎労働会館
8日(火)	10.00 ~ 12.00	九段会館
11日(金)	"	豊島公会堂

内 容：① 通俗講演，② コンクール入選映画その他

(6) 地方巡回映画会

月 日	時 間	場 所
1964年11月10日(火)	13.00 ~ 16.00	札幌自治会館 (札幌市)
11日(水)	"	釧路市公民館 (釧路市)
12日(木)	"	日の出会館 (仙台市)
14日(土)	13.00 ~ 17.00	北国新聞講堂 (金沢市)
18日(水)	"	高松農協会館 (高松市)
19日(木)	9.30 ~ 11.30	御影公会堂 (神戸市)
"	13.00 ~ 15.00 } 15.00 ~ 17.00 } 17.30 ~ 19.30 }	生田公会堂 (")
20日(金)	13.00 ~ 15.00 } 15.30 ~ 17.30 } 18.00 ~ 20.00 }	伏見高校 (京都市)
21日(土)	10.00 ~ 12.00	市立都島工業高校 (大阪市)
"	13.00 ~ 15.00	市立天王寺中学校 (")
"	15.30 ~ 17.30	児童文化会館 (")
22日(木)	9.30 ~ 11.30 } 12.30 ~ 14.30 } 14.30 ~ 16.30 }	桜宮公会堂 (大阪市)
25日(水)	13.00 ~ 16.00	明治生命ビル (福岡市)
26日(木)	13.00 ~ 17.00	広島労働会館 (広島市)
27日(金)	13.30 ~ 17.00	名古屋工業大学講堂 (名古屋市)

内 容：① 通俗講演，② コンクール入選映画その他

(7) 都内見学会

日 時：1964年11月8日(日) 9.00~17.00

行 程：

集合時刻	出 発		到 着		乗 物	経 路	見 学 場 所 等	摘 要
	時 刻	場 所	時 刻	場 所				
9.00				都体育館			説1. 競技場・オリンピック村 明2. 街路 3. 高速道路	(各20分) 60分
10.00	10.05	都体育館	10.10	主競技場	バ ス	神宮外苑内	主競技場	30分
10.40	10.45	主競技場	11.00	オリンピック村	バ ス	高速4号線	高速道路・オリンピック村	50分
11.50	11.55	オリンピック村	0.25	駒沢競技場	バ ス	甲州街道環7	街路・駒沢競技場	昼食 80分
1.45	1.50	駒沢競技場	2.20	兜町駐車場	バ ス	放4・放22 高速3・4号線	街路・高速道路・駐車場	30分
2.50	2.55	兜町駐車場	3.20	羽田空港	バ ス	高速1号線	高速道路・羽田空港	60分
4.20				空 港 内			説明 モノレール	15分
4.35	4.40	空 港 駅	5.00	浜松町駅	モノレール	モノレール	モノレール・高速道路	解 散

定 員：200人

参 加 費：500円(昼食費ふくむ)

申 込：10月15日(木)までに参加費を添えて土木学会事業課宛お申込み下さい(定員に達し次第締切りますからお早くお申込み下さい)。

(8) 東海道見学会(バス旅行)

日 時：1964年11月9日(月)~11月10日(火)

行 程：

日	出発時刻	出 発 地	到 着 地	到着時刻	キロ数	所要時間	見 学 箇 所
11月 9日 (月)	時 分 8.20	土木学会	大 磯	時 分 10.30	100	130分	首都高速道路4号線1号線, 横浜バイパス, 藤沢バイパス(車中)
	10.50	大 磯	沼 津	12.50	55	20	大磯高架道路工事
	13.30	沼 津	由 比	14.20	36	40	箱根新道(車中)
	14.50	由 比	豊 橋	17.40	140	30	沼津千本松原(昼食)
	17.40	豊 橋	三 谷	18.00	17	20	由比海岸道路工事
(三谷温泉ふきぬき旅館)							
10日 (火)	9.00	三 谷	名 古 屋	10.15	55	75	名四国道架橋工事
	10.55	名 古 屋	一 宮	11.35	25	40	一宮インターチェンジ(昼食)
	12.35	一 宮	大 津	14.45	120	130	大津インターチェンジ
	15.05	大 津	豊 中	15.45	50	40	
	15.45	豊 中	新大阪駅	16.05	7	20	
	16.25	新大阪駅	大 阪 駅	16.45	3	20	新大阪駅

定 員：150 人
 参 加 費：4 000 円（行程内の一切をふくむ）
 申 込 込：9 月 30 日（水）までに、氏名、勤務先、役職名、連絡先を明記して参加費を添えて土木学会事業課宛お申込み下さい（定員に達し次第締切りますからお早にお申込み下さい）。（取消しは 10 月 31 日までにお申出のあったときに限り後日参加費をお返しいたします）。

創立 50 周年記念親善ゴルフ大会

定 員：50 人
 日 時：1964 年 11 月 5 日（木）
 場 所：小山カントリークラブ（東北線小山駅前よりクラブ専用バス 10 分）
 スタート：9 時 30 分
 懇親パーティー：会費 1000 円 16 時よりクラブハウスにて開催
 各自の御支払：グリーンフィー、キャディフィー、および飲食代はクラブに御支払下さい（グリーンフィーは特別割引）。
 ハンデ：オフィシャルハンデ
 競技方法：18 ホールズ、メダルプレー
 賞 品：優勝～5 等ほか多数。
 申込方法：土木学会 50 周年記念ゴルフ係宛 往復はがきにてお申し込み下さい（氏名、住所、オフィシャルハンデを必ず記入のこと）。
 受付締切：10 月 24 日（土）先着順とします。
 註：オフィシャルハンデのない方は
 1. 優勝杯には参加できません（他の賞は可）
 2. キャラウェイ方式で計算いたします。

50 周年記念出版物のご案内

書 籍 名	体 裁	定 価	会員特価	備 考
土木工学ハンドブック全巻皮装	A 5 判 2 880 ページ	10 000	9 500	送料学会負担
〃 全巻布装	A 5 判 2 880 ページ	8 000	7 500	
〃 上巻布装	A 5 判 1 580 ページ	4 500	4 300	
〃 上巻布装	A 5 判 1 300 ページ	4 000	4 300	
土木学会誌・論文集総索引	B 5 判 260 ページ	800		送料 100 円
建設／創造／技術（写真集）	A 4 判 250 ページ予定			10 月末完成
土木用語辞典	B 6 判 1 000 ページ予定	予価 2 000 円		40 年 6 月完成
土木技術発展のあゆみ	A 5 判 300 ページ予定	予価 1 000 円		10 月末完成
大正以降日本土木史	B 5 判 1 000 ページ予定			40 年 3 月完成
土木学会 50 周年略史	B 5 判 80 ページ予定			10 月末完成
土木学会誌 50 周年記念特集号	B 5 判 300 ページ予定			第 50 巻 1 号に掲載

土木学会創立50周年記念出版

B
5
判

土木学ハンドブック

土木学会編

委員長 東京大学名誉教授
工学博士 福田武雄

主査幹事 東京大学教授
工学博士 奥村敏恵

日本国有鉄道
新幹線局土木部長 長浜正雄

主査38名、幹事39名、執筆委員 310名

「大型判」発行について

さきに「土木学ハンドブック」が昭和39年4月発刊されてより、ここに6ヶ月、その間に本書に対する反響はまことに著しく、関係方面に少なからずその価値を認められたことは、弊社の「わが国、土木工学の進歩発展に寄与する」出版の目的のために、まことに喜ばしいことであります。

これは又、他面、わが国今日の土木工学及び技術の進歩が如何に目覚ましいものであるかを示すものであり、その驚くべき躍進を、学会及び執筆各位ともに心から喜ぶとともに、大きな意義を感じるものであります。

発刊以来今日まで、弊社としましては、本書を広く利用して頂くために、種々検討を重ね、関係方面との緊密な連絡の結果、ここに各読者の反響と助言をもとに、拡大判(B5判)の刊行を企画することに決定した次第です。ここに装を新らたに、B5判の発刊を実現するに至りました。

既刊A5判に対するB5判では文字を大きく、図版を鮮明に、本書の体裁をかえ大方の読者の要望を充したい所存であります。

尚「A5判」低廉版は今後飽くまでも続け、現場及び大学生等の便宜のために普及判と名をかえ活用を願うものであります。

株式会社 技報堂

体 裁

B5判(18.2×25.7cm)背皮特装・函入
特濶用紙使用・図版 5,500余個収載
上巻 1,552頁 定価 7,000円
下巻 1,216頁 定価 7,000円

■内容見本送呈■

技 報 堂

東京都港区赤坂溜池5 振替東京10番 電話 481-8581(代)



●●●●●●●●●●すべての建設への基準となる一大便覧●●●●●●●●●●

刊行のことば

土木学会 会長 山本三郎

昭和29年、土木学会創立40周年を記念して、土木工学ハンドブックが出版されてから早や10年を経過した。土木学会監修の名に恥じぬ立派な大著であり、わが国土木工学の進歩発展に多大の貢献を果してきたことを確信するものである。

以来10年、日本経済の驚異的な拡大成長にともない、技術革新の波はあらゆる分野に浸透し、土木工学もまた遅い発展の道を歩んできた。

新しい理論、新しい工法、適格な設計、巨大な機械による急速施工等、学術技術共10年前とは比較にならぬ発展を遂げたのである。

土木工学は他の工学部門にくらべて極めて広い部門に分れているが、このような学術、技術の進歩発展によって各部門は必然的に専門化してきて分化されるに至った。しかしながら各部門は互いに密接な関連をもって融合調和してゆかなければならないのである。

当学会はこうした背景のもとに、昭和33年8月「土木工学ハンドブック改訂委員会」を設置して旧版の改訂を企図したのであるが、以来今日に至る5年余、その間一時中断したこともあったが、**学会創立50周年記念事業**として刊行すべく、300名におよぶ新知識を動員してここに刊行を見るに至ったのである。

すなわち旧版を徹底的に分析して、古きは捨て新らしきを採り、各編の調整を考えて慎重な編集によって土木工学の各部門を総合し、もって現代の技術者の利用に便ならしめたのである。本書の編集にあたり、委員長はじめ各委員は数多の会合や、資料の検討に多大な苦心を払われたのであって、その結果は旧版を上まわる堂々たる内容をもった大著となったことはまことに喜ばしい次第である。

今般本会創立50周年に際し、その記念事業の一つとして本書を刊行することができたことは、編集委員、執筆委員および関係者各位の御努力の結集であって心からの謝意を表する次第である。

本書が広く土木工学界に利用せられ、わが国の土木工学の発展に寄与することを念願して本書刊行の序とする次第である。

主要目次

編	題 名
1	数表および数学
2	構造力学
3	土性および土質工学
4	水理学
5	測 量
6	製 図
7	土木材料
8	コンクリートおよび鉄筋コンクリートの施工
9	鉄筋コンクリートの設計
10	プレストレストコンクリート
11	石工構造
12	木構造
13	鋼構造物製作法
14	橋梁総論
15	鉄道橋
16	道路橋
17	鉄 道
18	特殊鉄道
19	都市高速鉄道
20	道 路
21	都市計画
22	上水道
23	下水道
24	港 湾
25	空 港
26	海岸工学
27	河 川
28	砂防
29	発電水力
30	火力および原子力発電
31	グ ム
32	基礎工
33	トンネル
34	土 工
35	建設機械
36	地質、地震、気象
37	土地改良
38	建築学
	索引
別冊	JIS

-----切-----取-----線-----

申 込 書		定 価	冊 数	合 計	備 考	No. _____ お願い…… お申込みはこの用紙を御 利用下さい。不要欄には 斜線を引いて消して下さい。
	上 卷	¥ 7,000				
	下 卷	¥ 7,000				
上記の通り申込みます 昭和 年 月 日						御住所 所属名 御芳名

